



校長が考える学校経営の「一步先」を実現する



R 7 年度 第 3 号①
津山教育事務所 7 月

AP訪問 第1回目総括

第1回目AP訪問では、事前・当日の準備、面談、公開授業、協議等、対応ありがとうございました。1回目を振り返って、主体的・組織的な取組として成果が出ている学校や授業改善が進んでいる学校の共通点、協議でのキーワード等をまとめてみました。津事管内での成果を参考に、今後の実践に生かしてください。

主体的・組織的な取組を行い、成果が出ている学校の共通点

①納得感・必要感

テーマや目標、スローガン、取組が自校の子どもには最も必要だと教員の中で腑に落ちている。

②言語化・イメージ化

取り組む内容や手法、目指す子どもの姿や場面が言語化され、教員間で共有されている。

③評価力とフィードバック力

活動のやりっぱなしやマンネリ化になっていない。

子どもがアウトプットしたものを適切に評価し、学習意欲につなげるフィードバックができています。子ども自身の振り返りをメタ認知の形成、自己調整力の育成へとつなげている。

④相似形・学ぶ教師

教師自身が自己研鑽、児童理解に熱心であり、職員室の中に学ぶ雰囲気がある。また、子どもたちにさせたいことを教師自身も実践している。



☆目的意識を持ち、自分たちの実践を言語化、視覚化、共有化すること。（教師も子どもも）
☆意図的な教育活動を展開し、学びの過程を評価・フィードバックし、子どもの意欲につなげること。
⇒子どもが主体的に活躍する学校、子どもが主役の学校へとなっている。



校長が考える学校経営の「一步先」を実現する



R 7 年度 第 3 号②
津山教育事務所 7 月

授業改善が進んでいる学校の共通点

①APと校内研修がリンク

重点取組として**具体的に何を**するのか**が**明確になっている学校は、同じ方向で授業改善が進んでいる。

②地道な研究の継続

外部から**講師招聘**、**提案授業**、**相互参観**、積極的な**研究授業**、意図的な**研究校への派遣**等、授業改善に向けて積極的・継続的に取り組んでいる。

③積極的に変革する意欲

新しい手法や理論を取り入れたり、**ICTを有効活用**している。

④中学校の授業改善

本時の流れの明示、席の配置や授業形態の工夫、生徒の意見や考えが出やすい**学習環境づくり**が進んでいる。

⑤非認知能力、特別支援、生徒指導の実践上の4つの視点等を学びの土台に据える

生徒指導上課題のある学校において、子どもたちが学びに向かうために、**知と徳を連携**させながら根っこを大切にに取り組んでいる。

各校の重点取組（具体例）

単元の見通しを子どもと共有、導入の工夫（既習事項、振り返り、生活体験等）、本時のねらいの明確化、本時のゴールイメージを子どもと共有、自己選択・自己決定・自力解決の場を確保、思考ツール活用、視点を持たせた話し合い、聴き合う姿の具体化、対話アイテム活用、他者参照、ICT有効活用、思考を深める発問、教師の問い返し、子どもからポイントを引き出す、振り返りの意味づけ 等



手段手法の工夫で満足していませんか？

学習方法だけではなく、**目的意識や教科の本質**についても考えることは欠かせません。

『一步先へ！』本当に子どもたちに力が付く授業になっていますか？

～授業づくりは奥が深いです 謙虚に学び続けていきましょう～

- 本時のねらいから外れていませんか？
- 各教科の「見方・考え方」を働かせていますか？
- 何のために何を委ねますか？
- 子どもが「学ぶ」べきことは徹底できていますか？





校長が考える学校経営の「一步先」を実現する



学校教育目標・研究テーマとAPをリンクさせて一貫した取組を進めようとしている学校が増えたため、協議が昨年度よりも深まるケースが多いように感じました。

ミドル層や若手リーダーが協議に参加し、意図や具体の実践を説明したり、質問にもしっかりと答えたりする人材が育ち、実働している学校が増えてきています。

管理職の意図的・戦略的な人材育成の視点を感じました。



岡山県マスコット「もちっ
ち・うらっちと仲間たち」

「協議」や「振り返り」におけるキーワード

「**目的・意図**のある活動が大切だ！」

「主体的・対話的で深い学びに向けて、目の前の子どもの実態に合った**扱うべき既習事項**を準備していきたい！」

「**自分事**となる学びのための導入の工夫をしたい！」

「考えたくなる課題、話したくなる目的・内容（**対話の必然性**）にする必要がある」

「**視点**を持たせた話し合いで**深い学び**へ」

「子どもから**考えを引き出したい**」「子どもの学びを**言語化**させたい」

「**教材研究の深さ**が必要」「教材研究＋子ども研究」「本時のポイントを押さえておくこと」

「単元計画の中で**本時の重点**を押さえた授業づくり（「知識・技能」か「思考力・判断力・表現力」か、その往還）が必要」